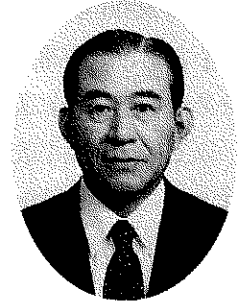


就任ごあいさつ



(株)ニューガラスフォーラム 会長
日本電気硝子(株)取締役会長

岸田 清作

平成12年度の総会で、皆様方のご推挙をうけニューガラスフォーラムの会長をお引き受けすることになりました。会員の皆様のご意向を承り、副会長はじめ関係の方々とはよく相談し、また通商産業省のご後援を頂きながら、この大任を果たしたいと存じます。ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

さてニューガラスフォーラムは設立から15年を経過し、まもなく21世紀を迎えようとしています。このときに当たり、日本のガラス産業界における多くの協会、工業会を統合し、グローバルな諸問題にも対応できる新しい機構として、ガラス産業協議会が発足し、初代会長には板硝子協会の瀬谷博道会長が選任されました。

ガラス産業協議会は、ガラス産業全体にかかわる政治・経済・社会問題への対応と提言、および技術開発を含む戦略の策定と展開などを積極的に推進することを目的としております。現在、行政や経済界などあらゆる分野における統合(integration)が世界的に進んでおりますが、このたびのガラス産業協議会の誕生も、業界にとって誠に喜ばしいことであると思っております。

すでに、松村前会長のご英断により、ニューガラスフォーラムはこの協議会の設立メンバーの一員として参加することに決しました。ガラス産業協議会における技術問題は、プロセス関係、環境関係、材料関係、および基盤技術関係に大別され、それぞれに分科会を設けて活動を開始しようとしています。各分科会では、手がけるべき技術課題の選択が行われると思っております。ガラス産業における技術的課題のいくつかは、すでに当フォーラムより通産省に提出された「ガラス産業技術戦略2025年」の答申にも現れておりますが、産官学の協力により現象の背後にある実体が明らかにされることを願っております。

なお2000年度の事業計画には、三年目を迎える「ニューガラス高温物性測定法の標準化」および昨年度に続く「知的基盤整備事業」のプロジェクトがありますが、いずれもガラスの基盤技術に貢献するものと期待しております。

以上に述べましたように、ニューガラスフォーラムは新たな時代を迎えております。私はガラス産業の未来をひらく視点に立ち、関係の方々とよく相談しながら微力ではありますが最善を尽くす所存です。会員の皆様、通商産業省、工業技術院、その他の機関の皆様、ならびに学界の先生方のご指導とご協力をお願いする次第であります。